

TA99

初 級

名古屋  
大阪  
九州

## はじめての外国特許

## ～実務における米国特許出願～

米国への特許出願・権利化、権利化後手続きの基礎  
日本との特許制度の違いを踏まえた対応とは？

最近、自社製品に関する米国への特許出願が増えてきた、自分の特許出願業務が国内から外国担当へと変わった、今まで米国特許出願は特許事務所任せだったが自社でも対応できるように勉強したい・・・等、米国特許出願に関する全体の流れと手続きを知りたいと感じている方はいませんか？

本セミナーは、米国特許実務未経験者／初心者の方を対象に、実務に沿った権利化手続きを想定しながら、複雑と言われる米国特許出願・権利化、権利化後の手続きの基本事項を日本の特許制度等との比較も交え、分かり易く解説します。

講 師： 弁理士 高橋 明雄（グローバル化-東京特許業務法人 代表、元 ヤノ(株)知的財産法務本部）

場 所： 日本パテントデータサービス(株) 名古屋、大阪、九州各営業所 各セミナー室

時 間： 半日間コース（13：30～16：30）

受講料： 10,000円（税別） ※TV聴講価格

定 員： 各会場共 10名（先着順申し込み）

日 程： 12月1日（金）

対 象： 米国特許実務未経験者／初心者の方

## 【セミナースケジュール】 はじめての外国特許 ～実務における米国特許出願～

13：30	講師ご紹介
13：35	1. イントロダクション <ul style="list-style-type: none"> <li>・日米特許出願件数の推移とその背景</li> <li>・米国出願コスト</li> </ul> 2. 特許要件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規性、非自明性（進歩性）、記載要件</li> <li>・限定要求／選択要求（単一性）、分割出願、ダブルパテント</li> </ul> 3. 米国特許明細書／クレーム <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国明細書の構成</li> <li>・米国クレームの基本</li> </ul>
14：40	休憩
14：55	4. Office Action 対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Office Action の読み方</li> <li>・Non-Final Office Action に対する応答</li> <li>・Final Office Action に対する応答</li> </ul> 5. 米国出願／権利化時の留意事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・IDS、ベストモード要件</li> <li>・米国で生まれた発明（現地事業所、打合せで生まれた発明）の取扱い</li> </ul> 6. 権利化後の手続 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特許維持年金、特許権利期間</li> <li>・再発行</li> <li>・査定系再審査、補充審査</li> <li>・特許付与後レビュー、当事者系レビュー</li> </ul> 7. まとめ
16：15	質疑・応答
16：30	終了

## 【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。

